

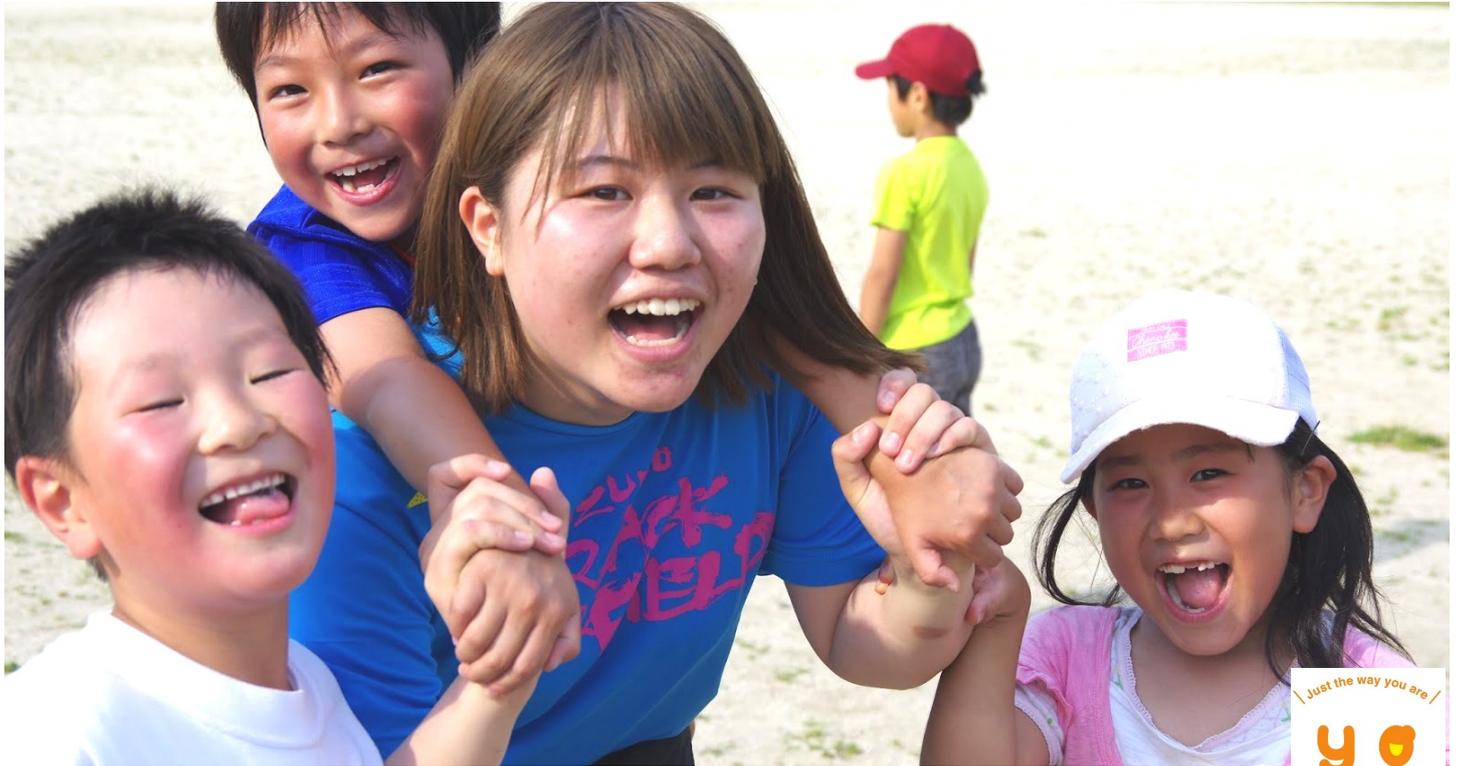
MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深めます。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2017年8月号



発行人：濱塚有史 編集人：向平悟 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「YMCAで過ごした日々」

山内 陽太 (下小路中学校 2年)

お久しぶりです！下小路中学校二年生の山内陽太です。知っている人、知らない人、共にいると思いますが、僕は二年前までYMCAで活動させてもらっていました。今回はその時の日々を思い出しながら書かせていただこうと思います。

僕は小学校二年生のときに本町スクール、三年生のときにベストキッズに入団しました。その頃はサッカーの楽しさしか知らず、ボールを蹴っている時間が何より楽しいものでした。しかし、学年が上がるにつれサッカーの難しさもだんだんと分かってきました。声を出す、走る、正確な判断、ボールを蹴る。これらの事を頭と体の両方を使い、同時に行わなければならないのです。僕にとってはとても難しい事でした。練習しても上手いかない。こんな事が続いていました。しかし、そんな時、上級生が引退し、次のキャプテンが僕だと告げられました。内心一番驚いていたのは僕自身です。その日の夜、僕

に何ができるのかじっくり考えました。そしてその結果「誰より努力し、チームのために尽くそう。」という意識が僕の中に芽生えました。しかし、ベストキッズの練習はそれはもうとてつもなくきつかったです。一人ならとっくに心が折れていたと思います。でも、心強い仲間が、どんなに辛く苦しい事も一緒に乗り越えてくれました。そうやって1日1日を過ごしていったから、勝ち負けより大切な「何か」を手に入れることができたんだと思っています。僕は今回サッカーで例えてみましたが、これは何においても言えることだと思います。みなさんも今がんばっている事を続け、その「何か」を探して見て下さい。僕も負けずに努力を続け、夢に近づけるように頑張りたいと思います。



★2017年度 夏のキャンプ報告★

わんぱくキャンプ



こんにちは！チーズです★わたしからわんぱくキャンプの様子を報告させていただきます！今年のわんぱくキャンプは、7月16日(日)～17日(月)の2日間で行われました。わんぱくキャンプはチャレンジのキャンプ。子ども達にとってもリーダーにとってもたくさんチャレンジできるキャンプです。

い道もたくさん星人も子どもたちにとっても忘れられない時間になったと思います。

2日目は朝から太陽がでていてまさに夏！みんなでおもいおもいのおにぎりを握った後は、お待ちかねフリータイムです。虫捕り、おたまじゃくし捕り、おにごっこ、陣取り…昨日まで話したことのなかったお友だちとも知らぬ間に仲良くなり一緒に遊んでいました。

キャンプで過ごした2日間はリーダーたちにとっても子どもたちにとってもずっと忘れられない大切な思い出になったと思います。冒頭で言いましたが、わんぱくキャンプはチャレンジのキャンプ。キャンプで起こる一つ一つのこと子どもたちにとってチャレンジだとわたしは思います。そして、チャレンジすることを恐れない子どもたちはいつでも私のお手本であり、もっと頑張ろうと思える源です。来年のわんぱくキャンプはどんなキャンプになるのか楽しみです♪あつという間の2日間でした！ありがとうございました。

キャンプ1日目、午前中は雨が降ってしまいびしょぬれキャンプかな？と思いきや午後にはぼつぼつと雨が上がり、びしょぬれにならずに外で思いっきり駆け回ることができました！そして最初の大きなチャレンジ、ご飯作りです。子ども達には自分のやりたいものをやらしてもらいました。最後まであきらめずにできるかな？…そんな心配もご無用。子どもたち一人ひとりが目の前のことに一生懸命取り組みました。自分と同じくらいの大きな鉈を持って薪を割ったり、切りづらい野菜を切ったりする姿は素直にすごいなと感じます。みんなで頑張って作ったカレーはほんとうに美味しい！！ナイトプログラムは…バクッと星人がやってきました！みんなで協力をして元の世界に戻ることができましたよ♪暗

盛岡大学児童教育学科3年 小野寺保乃香 (チーズリーダー)

サッカーキャンプ



サッカーキャンプは盛岡だけでなく、東京などからも子どもたちが参加して多彩な個性の光るキャンプとなりました。初めましてでも一緒にサッカーをしてみたいなぞ知らず知らずのうちに友達になっている、そんな雰囲気の中で1日目の練習が終わったころにはお互いに名前を呼びあい片付けなどを協力する姿が見られました。

ンスをしながら楽しく焼いたお肉や野菜をみんなでわいわい食べました。片付けは子どもたちが自主的に動き、最後までしっかり協力していたことがとても印象に残っています。いよいよ4日目の岩手山カップ当日になり、手作りのユニフォームを着て、声を張り、体を張り、走り・・・笑いあり、涙ありの、想いのこもったプレーが多くみられる大会となりました。

2日目はプールに入り、流れるプールやウォータースライダーなど、夏の遊びを満喫。水中鬼ごっこや水の掛け合いをしている子もいれば、リーダーの背中中でひたすらしがみついで遊んでいたり、水流を作るために水を出している部分でひたすらに水流に耐えていたり、ここでも個性を垣間見ることが出来ました。夜からは最終日に行われる岩手山カップに向けて4つのチームに分かれ、それぞれチーム名を決めたり、オリジナルユニフォームを作ったり、練習を考えたりしました。勝利を目指し、活発に、でも楽しく話し合いをしていたように思います。3日目にはバーベキューも行われ、たもりリーダーやジバンリーダーが歌やダ

サッカーが好き、うまくなりた、そんな気持ちを共通して持っているメンバーだからこそその楽しさや対立、そしてたくさんのドラマがありました。子どももリーダーも全力を尽くし、お互いを認め合い、協力し合った3泊4日は本当にいろいろなことがあり、笑いや涙がその充実を物語っているように思います。うまくなってまた来年会おう！と別れ際に話している様子が、切磋琢磨する子どもたちの仲間意識を感じることも出来るキャンプになりました。

岩手県立大学短期大学部2年 早坂知美 (ちょびリーダー)

森の大自然満喫キャンプ



皆さんこんにちは！マックスです。私は森の大自然満喫キャンプのメインを努めさせていただきました。

ぎ！最後には全員でキャンプソングを歌い、充実した1日となりました。

バスで外山森林公園へ！管理棟の方にしっかりと挨拶をしてテントへ向かい、準備をしてお弁当を食べたあとはプログラムです！どのグループも森を歩き回り、自然を満喫しながらグループで話し合っってミッションを達成していきましました。そして巨大な輪っかで人間輪投げをしてとても盛り上がりましました！お腹がすいたところで夕食作りのスタートです。薪割り、包丁とやりたいことに分かれて作業開始。薪割りではチャレンジする低学年や、それを手伝う高学年の姿が見られました。包丁班も皆一生懸命具材を切っていました。火付けをする子も現れ、汗をかきながら火を起していました。皆で作って皆で食べた夕食はとても美味しかったです。自分の皿を最後までしっかり洗うと下のファイヤーサークルには炎が。キャンプファイヤーの始まりです！歌ったり踊ったりして大騒

2日目の朝の集いでは震源地ゲームをして全員で楽しみました！朝ごはんを食べて、午前と午後はお昼を挟んでフリータイム！虫取り網を持っていざ出陣！トンボやアメンボ、カナヘビを夢中になって追いかけ、自然を満喫していました！午後は滝を見に行く勇敢なグループもあれば大勢で水鉄砲合戦をするグループも！リーダーに狙いを定め皆で水をかけていました！リーダーも子どもたちも全力で走り回りました。片付けをして管理棟に挨拶をし、バスに乗って帰りました。

この2日間は自然を満喫して走り回りました！怪我もなく子どもたちの笑顔が多く見られた充実したキャンプとなりました。また皆と遊ぶことを楽しみにしています！

岩手大学教育学部2年 東彩由海 (マックスリーダー)

島のわくわくキャンプ



こんにちは♪マックです！島のキャンプでは気仙沼大島に行ってきました。フェリーではカモメに手渡しでかっぱえびせん渡しに挑戦をし、キャンプ場についてからは、グループ毎に分かれ、島で磯や地獄岬に探検に行ったりしました。ナイトプログラムではグループで1つの旗を作りました。みんなで案を出し合い、それぞれのグループの個性が光る旗が完成しました。

2日目は海水浴をしました。波乗り隊や、カニ獲り隊、泥投げ、砂浜でリーダーを埋めるなど、思いっきり海を楽しむことが出来ました。また、夜は薪割り、火つけに挑戦しグループ毎に飯盒でお米を炊きました。夕食は隣のテントのグループと合体して、みんなでワイワイ食べました。その後のナイトプログラムではグループ対抗のゲームをした後にある発表がありました。それは3日目にお祭りをするという発表です！！グループ毎にゲームやご飯のメニューを考えたり、お祭りの実行委員を決めお祭りを盛り上げるための案を出し合いました。そして、グループ毎の係を決めたり、スタンプ大会をする事にしました。

そして、3日目のお祭り準備では、雨の関係で祭りで出すご飯を自分たちで作ることはしませんが、それぞれのグループで、スタンプ大会の練習をしたり、お祭りで出すゲームを作ったりしました。また、それぞれの係がグループでお祭りを盛り上げる装飾を作ったり、地図を

作ったり、お金を作ったり、みんなでお祭りを作りました。そして、パフォーマンス大会では、踊ったり、クイズ大会をしたり、劇をするなど、グループの工夫が満載で大盛り上がりしました。お祭りでは、射的に輪投げ、おみくじ、飴すくい、カニすくいなどたくさんゲームが出されました。高学年の子が低学年の子にルールを丁寧に教えている姿、射的をセットしてあげる姿、おまけをしてあげたり、笑い声でいっぱいのお祭りでしたが、とても暖かい雰囲気のお祭りでもありました。そんな素敵な時間をみんなで作れたことがマック自身もとても嬉しかったです。

最終日はグループ関係なく、虫取りや探検、ダルマさんが転んだなどをしました。お昼ご飯はみんなで食べ、どこからともなくキャンプだほいが歌われ、リーダーのオリジナルキャンプだほいや、みんなで歌を歌ったりして過ごしました。

今回の島のキャンプでは、みんなそれぞれ違うから喧嘩したり上手くないこともたまにはあるけど、それを乗り越えて、やっぱりみんなで作るキャンプは最高だなと強く感じたキャンプでした。島キャンのみんな、最高の夏の思い出をありがとう！！

岩手看護短期大学3年 鬼柳琴（マックリーダー）

星空満天キャンプ



こんにちは、ビリケンです！星空満天キャンプは焼走り国際交流村で行いました。

今回の星空満天キャンプは、残念ながら3日間を通してあいにくの曇り空となってしまいましたが、曇り空の中でも元気いっぱい楽しく過ごすことができました☆

1日目は、緊張した顔の子どもたちも居ましたが、みんなで協力してテントを建てたり、プログラムをしたりするうちに段々と緊張がほぐれていったようでした。晩ご飯づくりは、グループごとに飯盒で米を炊いたのですが、新聞紙や薪が湿気っていたこともあり、みんなとても苦労していました。それでもなんとかお米が炊き上がり、みんなでカレーライスを食べました。晩ご飯後の天文台でも、やっぱり曇り空で望遠鏡で星を見ることは出来ませんでしたが、とても親切な施設のおじさんが星についてのいろんなお話をしてくれました。

2日目の午前中はプログラムをして遊びました。キャンプ場内のいろんな場所に隠されている文字を集めてグループごとに面白い文章を作ろう！というプログラムです。それぞれのグループが個性豊かな文章を上手に作り上げていました。昼食のサラダうどんを食べたあとはフリータイムでした。フリータイムでは、ファイヤーサークルを使ってドーンジャンけんをしたり、ケイドロをしたり、ナイトプログラムで行うスタンプ大会での出し物をグループごとに話し合っていました。晩ご

飯作りでは、みんなで役割り分担をして、ひつみとわかめご飯を作りました。薪割りではわり箸ほどの細さに切れるようになったり、火加減を上手にコントロール出来るようになったり、子どもたちの成長を見ることができました。ナイトプログラムはキャンプファイヤーの予定でしたが雷が聞こえたため、急遽、室内でのスタンプ大会のみに変更となりました。しかし、どのグループの発表でもたいへん盛り上がりキャンプに来ている全員が一体となって楽しむことができました。

3日目の午前中のフリータイムでは、グループオリジナルの星座を考えたり、ケイドロをしたりして過ごしました。昼食後の午後のフリータイムでは、小雨の中、焼走り溶岩流という溶岩だらけの道を散歩したり、室内で風船バレーをしたり、だるまさんがころんだをしたりして遊びました。午後は小雨が降っていたため外で思いっきり遊べる状態ではありませんでしたが、それでも子どもたちはグループの壁を超えてたくさんのお友達と遊んでいました。

今年の星空満天キャンプでは、3日間を子どもたちと共に過ごしていく中で、子どもたちの成長を切に感じることができました。天候には恵まれませんでしたが、たくさんの経験を得ることができたのではないかと思います。みんな一体となって盛り上げられたキャンプになっていたと思います。

でも、やっぱり、来年こそは、満天の星空を見たい！！来年に期待！

中高生キャンプ



7月28日（金）から30日（日）、盛岡YMCA初の試みとなる中高生キャンプを開催しました。中学1年生が1人、高校1年生が1人、高校2年生が2人、高校3年生2人の6人のメンバーが参加し、キャンプを通して「自分の居場所」を見つけることができたキャンプになったと感じています。

このキャンプでは「自主性」を大切に考えてコーディネートされたキャンプで、28日（金）に集合場所の内丸教会に集まった後、「このキャンプをどう創っていくか？」のミーティングをスタッフ・リーダーも含め全員で行いました。キャンプ中のご飯はどうするのか？キャンプ中の様々な役割は誰が担うのか？何を過ごし、何を感じ、何を楽しみキャンプを過ごすのか？キャンプ中のルール設定はどうするのか？スタッフがファシリテーターとなり自分たちがこれから過ごすキャンプを全員で形にしていき、これからのキャンプのイメージを共有していきました。また、自然との触れ合いや、遊びを通してだけでなく、キャンプ2日目には「人間関係トレーニング」を実施し、「自分と他人の違い」や「全体における自分の役割」「対立を乗り越え

ての協調」についてワークショップを通して深め合うことができました。

思春期真っ只中の中高生にとって、「自分は自分でいいんだ」「自分はやればできるんだ」という感覚は、日々の忙しさや、学校生活の中での悩み、苦しみや人間関係の難しさの中で少しずつ薄れていってしまっています。今回のキャンプを通して「自分は自分でいいんだ」「自分と他人は違うけれど繋がるんだ」と一人一人がその子なりに感じてくれていたら嬉しいです。

どのキャンプもそうですが、このキャンプでもキャンプの凄さや楽しさを改めて感じると共に、参加したメンバーが「仲間」となる瞬間の輝きを体験することができました。今後も様々な場面で中高生たちと繋がりが、かけがえのない瞬間を共に過ごし、成長していければと思います。最後になりますが、このキャンプにご支援いただいた皆様、そして参加してくれたメンバーのみんな、素敵なキャンプをありがとうございました。

盛岡YMCAスタッフ 伊藤真太郎（ひげたまごリーダー）

8月の予定

- ★8月1日(火)～3日(木)
体育教室 キッズコーディネーション
場所:仁王地区活動センター
- ★4日(金)～5日(土)
森の大自然満喫キャンプ
場所:外山森林公園キャンプ場
- ★5日(土)～7日(月)
田沢湖思いつきりサマーキャンプ
場所:仙北市 田沢湖キャンプ場
- ★6日(日)～9日(水)
島のわくわくキャンプ
場所:気仙沼市 休暇村気仙沼大島
- ★10日(木)～12日(土)
星空満天キャンプ
場所:焼走り国際交流村
- ★13日(日)～16日(水)
盛岡YMCA休館
- ★18日(金)
篠木サッカースクールⅡ期開講
盛北サッカースクールⅡ期開講
金曜水泳教室Ⅱ期開講
- ★19日(土)
本町サッカースクールⅡ期開講
- ★20日(日)
アドベンチャークラブ
～目指せ源流!沢登りに行こう～
場所:区界 閉伊川
- ★21日(月)
土淵サッカースクールⅡ期開講
月曜水泳教室Ⅱ期開講
- ★22日(火)
火曜水泳教室Ⅱ期開講
- ★23日(水)
水曜水泳教室Ⅱ期開講
盛南サッカースクールⅡ期開講
- ★24日(木)
向中野サッカースクールⅡ期開講
高松サッカースクールⅡ期開講
常務委員会・理事会
場所:アイーナ ミーティングルーム



君でいいんだよ ～JUST THE WAY “YOU” ARE③～

平和について

飽きっぽい性格の僕がYMCAで働き始めて32年になる。そしてそのスタートは広島YMCAからだった。素晴らしい先輩や仲間を支えられて3年間の広島での生活は、瞬間に過ぎてしまった。しかし、当時の僕は広島に原爆が落ちた事実を目を向けることは、残念ながらあまりなかった。

情報が溢れる今の時代、なにが正しくて、なにが間違っているのかがますますわかりにくくなっている。改憲について、沖縄の基地移転について、原子力発電所について。社会には様々な課題があるが、勉強不足のせいか、反対の意見に耳を傾けると「全くその通りだ!」と思い、賛成の意見を聞くと「なるほど!」と思ってしまうのだ。

昨年、広島を訪れる機会があり、久しぶりに林辰也元広島YMCA総主事とお会いすることができた。青年時代に戻って自分の疑問を林さんにぶつけてみると、以下の答えが返ってきた。

「濱塚君、君は平和に軸足を置いているか?」
8月は、広島、長崎と人類史上初めて、原爆が投下された月である。そして、これを最後にさせることが僕たち大人の責任であると思う。

「人間をかえせ」 序

峠 三吉

ちちをかえせ ははをかえせ
としよりをかえせ
こどもをかえせ
わたしをかえせ わたしにつながる
にんげんをかえせ
にんげん にんげんのよのあるかぎり
くずれぬへいわを
へいわをかえせ

「義の実は、平和を実現する人たちによって、平和のうちに蒔かれるのです。」
(新共同訳聖書 ヤコブの手紙 3章:18節)



盛岡YMCA総主事
濱塚有史

ショッカーもフィリピンで考えた。⑤

ワークキャンプでは、たくさんの人との出会いがあった。中でも、イロイロYMCAのユースリーダーとの出会いは大きなものだった。

一週間のワークキャンプは、イロイロYMCAにユースリーダーと共に過ごした。

彼らは、皆気さくに話しかけてくれた。私が英語を理解しやすいように、ゆっくり話してくれたり、現地の言葉を英語でわかりやすく説明したりしてくれた。

ワークキャンプ中、日本からのキャンパー2人と、イロイロYMCAのユースリーダー1人の3人のグループでワークなどの活動を行うことがあった。その時に一緒にあったのがノエルというユースリーダーである。ノエルは、ギターと歌がとても上手で、優しくいつも私達のことを気にかけてくれていた。日本のアニメが好きで、その話で大いに盛り上がった。普段はクールだが無邪気になってはしゃぐ時もあり、一緒にいてとても楽しかった。

ホームステイでは、クインジーとのペアだった。クインジーは、いつも私のことを気にかけてくれ、ホームステイ先では英語で内容を噛み砕いて説明してくれたり、ディングル地区で使われている言葉を教えてくれたりした。最初は不安だったホームステイもクインジーのおかげで気が楽になり楽しむことができた。

ワークキャンプでは移動の時間が多かった。そんな移動などの何気ない時間でも、楽しい時間がたくさんあった。言葉の壁を超えて、楽しい時間を作り出し、共有することはとても難しいことであると思う。しかし、日を重ねるごとに楽しさを共有

する時間が増えていった。皆で同じ話題で笑いあっていることが、とても嬉しかった。そんな時間を作り出したことは素晴らしいことであると思う。一週間という短い期間であったが、生活を共にすることでお互いを知りより親密な関係になることができたから、何気ないことでも楽しい時間とすることができたのではないと思う。

サマーキャンプが始まった。どんな子どもたちが来てどんなキャンプになるだろうかととてもワクワクしている。子どもたちの中には不安な気持ちを抱えている子もいるはずだ。ホームステイでクインジーにもらったように不安を取り除き楽しさを提供していきたい。キャンプで出会った子どもたちと楽しい時間を作り出し、共有し皆で一つになることができればいいと思う。

伊藤陸 (ショッカーリーダー)



表紙の写真から



今回の表紙は宮古サッカースクールでの1枚。久しぶりに来たリーダーにみんなとても嬉しそうに飛びつきます。

感謝

●維持会費
(2017年度7月20日現在)

敬称略

- 木田泰之、光永尚生、花田暁、小笠原真紀、東森聡、伊藤眞太
- 木田泰之、尾形裕一郎、家村知佳、小川嘉文、小川明佑、魚住恵、長岡正彦、斎藤恒夫、濱塚有史、濱塚真美、濱塚恵太、濱塚直樹、濱塚牧人、濱塚秋二、濱塚れいこ、濱塚大樹、今松桂
- 塚、熊谷太、増田隆、田村治之、鶴丹谷三二、大岡靖二、北田アユ子、熊谷力實、川板保宏、名古隆恒彦、工藤あさひ、高瀬聡彦、早坂春希、熊谷一郎、村田深雪、及川孝虎、遠藤昌樹、神田橋慧一、伊藤眞一郎、伊藤みどり、飯島隆輔、一戸貞文、人見晃弘、吉崎陽、森山日菜乃、森山幹大、滝川佐波子、林辰也、中村弘、浅沼慧、角谷晋次、古澤伸、上中優奈、齋藤之彦、南原良哉、伊藤克見、井上修三、井上優子、井上浩太郎
- 寄附金
光永尚生、花田暁、熊谷大樹、今松桂子、熊谷太、増田隆、熊谷力實、早坂春希、伊藤眞一郎、伊藤みどり、人見晃弘、角谷晋次、伊藤克見

色々と紹介しました。が、まだまだたくさんは良いところとかすごいところがたくさんあると思います!たくさん見つけてみてください!以上、タイヤでした!

それから頑張り屋ということで、筋トレも頑張っていてとても筋肉があります!力を入れると腕とかムキムキになるので、今度触らせてもらってください笑



→たくあん

リーダー紹介

こんにちは!今回リーダー紹介を担当するタイヤと申します!初めてなので、まず最初に少し自己紹介をしたいと思います!



タイヤは岩手県立大学のソフトウエア情報学部というところの2年生で、本名を湯澤直希といいいます。性別は男です!車が大好きです。タイヤって名前もそこからきています。さて、今回タイヤが紹介するリーダーはたくあんリーダーです!たくあんは大原スポーツ公務員専門学校盛岡校の2年生で本名は小野啓史といいます!たくあんというリーダー名だけじゃなく、お漬物のたくあんは特別好きというわけではないようです。たくあんはYMCAのサッカースクールにたくさん参加しています!サッカー歴はフットサルも含めて7年です!なんと審判の資格も持っているんです!すごいですね。リーダーたちだけでサッカーを練習するときに、たくあんはとっても上手なのでリーダーみんなに教えてたりもします!